



経済活動助成事業 2021 年度実績報告

～ 2023 年度事業を募集しています～

(一財)自治体国際化協会交流支援部経済交流課 主事 永井 貴子 (札幌市派遣)

経済活動助成事業について

クリアでは自治体の海外販路開拓事業・インバウンド誘致事業などの将来的に経済効果を見込むことができ、他の地方自治体の取り組みの参考になる事業を対象とした「経済活動助成事業」の2023年度実施事業を現在、募集しています。

経済活動助成事業 概要

助成対象となる団体

都道府県、市区町村

助成対象となる事業

地方自治体が企画するなど、事業に直接関与している経済活動事業（海外販路開拓・インバウンドなど）で、将来的に経済効果が見込まれ、他の地方自治体の取り組みの参考となることが見込まれる事業

助成額

助成対象事業実施に要する経費のうち、助成対象となる経費の1/2以内の額で、次の金額を上限とする。

- ①海外で活動を行う事業は、1事業あたり500万円
- ②国内で活動を行う事業は、1事業あたり300万円

募集期間

2023年度事業については9月中旬～11月を予定
 ※2023年度事業募集に関する募集期間、要項は必ず下記ホームページでご確認ください。
<http://economy.clair.or.jp/activity/grant/>

今回は、2021年度経済活動助成事業を活用した2つの事業をご紹介します。

海外販路開拓 埼玉県の事例

埼玉県は大消費地である首都圏に位置していることを強みに、良質で多彩な農産物を生産しています。味や品質で差別化できる高品質な農産物は海外への輸出可能性が高く、2006年度からアジア向けを中心に輸出支援を行ってきました。

2017年度以降は、高所得層が多く高価格帯での取引

が期待できるシンガポールを中心に海外でのプロモーションを実施。特に梨やいちごは現地で高い評価を得ています。さらなる認知度の向上と販路拡大を目指し、2021年度もシンガポールで県産農産物のプロモーション販売を行うこととしました。

ライブコマースを核とした販売 PR

まず、イベント参加者にいちごなど県産農産物のサンプルを送付したうえでイベントを行いました。イベントは、現地のパートナー企業と連携して、メディア37社とインフルエンサー41名を呼び込み、県産農産物の紹介とライブコマースの告知を目的としてオンラインで2回行いました。先に送ったサンプルをイベント中に産地や商品説明などを聞いたうえで試食してもらったこともあり、116か所で県産農産物の紹介記事が掲載されました。

ライブコマースは2回実施しました。商品の希少性や品質の良さ、食べ方などを紹介し販売したところ、県産品の紹介記事が事前に掲載されたこと、また、Facebookや現地メディアでの事前告知をしたこともありいちごは販売開始直後に完売となりました。天候により確保可能な農産物の量が変わってしまうので調整することには苦労しましたが、ライブコマースは大変盛況でした。



事前告知に使用されたライブコマースのチラシ

B to Cのプロモーション後は、シンガポールで著名なレストラン事業者へのカタログ提示やいちごのサン

プル送付など、B to Bのプロモーションを行いました。その後行った6社とのオンライン商談会では、場所を問わない利便性を感じられた一方、バイヤーとの信頼関係を築くことの難しさを感じました。また、事業者向け販売カタログプラットフォーム“Salad Plate”に、事業に参画した県内事業者40商品を掲載し、他の県産農産物のプロモーションも行いました。

こうした取り組みの結果、県産農産物は非常に高い評価を得られ、県産ゆずジャムの注文や県産いちご「あまりん」の購入希望を受け、県産ブランドの認知度向上を感じることができました。また、インバウンドについても期待ができる旨の意見もいただきました。

アジアエリアでは日本産農産物の競合も多く、現地のニーズに合わせた差別化と、値打ちに見合う付加価値の提供が必要となります。今後は、埼玉県のみで栽培されている農産物のブランディングと、県産米などの新たな品目の輸出に取り組んでいく予定です。

インバウンド PR 黒石市の事例

青森県黒石市は、県の代表的な冬の観光資源・八甲田エリアに近く位置し、スキー旅客の黒石温泉郷への誘致を目指したブランディングなど、積極的にインバウンド事業を行っております。2019年度に豪州で開催されたSnow Travel Expoで市のプロモーションをした際には、同年度の冬期に市内旅館で延べ60泊の新規宿泊を獲得。オーストラリアではホリデーシーズンが日本の冬に当たり、長期滞在と消費が見込めることから、誘致に力を入れています。

ノベルティとPR動画の作成

オーストラリアー羽田間の直行便を運航している日本航空と、豪州の旅行代理店やメディア関係者を招へいたファミトリップを計画していましたが、新型コロナウイルス感染症による入国規制により、事業見直しを余儀なくされました。コロナ禍ではありましたが、関係団体との調整を行い、将来的な招へいを目的とした、ノベルティの作成と観光コンテンツを紹介する動画の作成に組み込みました。

ノベルティには、ねぶた絵紙袋を製作。「黒石ねぶた師乃会」のねぶた絵師による直筆で、500枚全てが異なるデザインとなりました。紙袋は、電灯を入れると灯

籠になる他、二次元バーコードを貼り、紙袋の製作過程や黒石ねぶた祭りのプロモーション動画が視聴できるよう工夫しました。コロナ禍でも海外でのPRを継続するため、現地の旅行会社や航空会社、現地イベントでノベルティの配布も行いました。将来的には、お土産としての販売やねぶた絵付けの体験を含めた商品化を検討しています。



ノベルティの紙袋

黒石観光協会と連携し、「黒石よされ踊り」の講習動画を制作しました。2019年度にオーストラリアのイベントで踊りを披露して以降、現地の盆踊りグループと交流が生まれ、2021年12月にはオンラインで一緒に踊った後、現地イベントで披露してもらいました。その経験を元に、今後も制作した講習動画を活用したオンライン交流を行い、黒石市を代表する夏祭り「黒石よされ」への誘客と、伝統芸能を通じたPRを目指しています。



黒石よされ踊りの講習動画撮影の様子

今後新型コロナウイルス感染症が収束しつつあっても新型コロナウイルス感染症対策は必要だと予想され、新たな生活様式に適應した受入環境を整えつつ、認知度の向上を図る情報発信の強化やファミトリップ、富裕層向けの体験事業など、さらなる観光コンテンツのPRを目指していきます。

クリアホームページには本助成金制度を活用した事業を掲載しています。まだご活用いただいたことがない自治体の皆様も、ぜひお気軽にお問い合わせください。